

# 追悼一名指揮者ネヴィル・マリナーを偲んで

## プログラム

今日は去る10月2日に92歳で亡くなったイギリスの世界的な名指揮者。ネヴィル・マリナーを偲んで、残されたライヴ音源から選りすぐりの演奏をお届けします。サー・ネヴィル・マリナーは1924年4月15日、イングランド中部のリンカーンに生まれました。ロンドン王立音楽院でヴァイオリンを学び、パリ音楽院でルネ・ベネデッティに師事。ロンドン響の第2ヴァイオリンの首席奏者を努めた後、アメリカでピエール・モントゥーに指揮法を学び、1959年アカデミー・オブ・セント・マーティン・イン・ザ・フィールズ（アカデミー室内管弦楽団）を創設。1979年～1986年までミネソタ管弦楽団の音楽監督、1983年～1989年までシュトゥットガルト放送交響楽団の首席指揮者を歴任。他にロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団、ドレスデン・シュターツカペレ等多くの名門オーケストラを指揮、日本には特に晩年、NHK交響楽団を頻繁に指揮していました。マリナーの指揮は室内オーケストラを指揮した時の透明感のある澆漓とした響きは新鮮で実に魅力的でした。フルオーケストラの場合は、イギリス音楽ではブリリアントで力感溢れる音を引き出します。ドイツ物では奇をてらうことなく端正でバランス感覚に優れたドイツ流の演奏とはひと味違った演奏を聴かせてくれました。晩年まで若々しい音作りは衰えを見せず、今年の4月には元気な姿を見せていただけに、その死が一層惜しまれます。今日は前半でイギリス音楽を、後半に初来日時のヴィヴァルディとドイツ名曲をお聴きください。ホルストの「惑星」は天文学ではなく占星術から着想を得て作曲され「木星」の中間部は多くの編曲で有名な名曲。エルガーの傑作、「エニグマ変奏曲」は各変奏が親しい友人たち音楽的な肖像として描かれています。16世紀チューダー王朝の作曲家トマス・タリスの主題を基にしたヴォーン＝ウィリアムズの作品は神秘的な美しさを持った名作です。おなじみの名曲と合わせてお楽しみ下さい。（中川）

\*\*\*\*\*

### クスタフ・ホルスト (1874～1934):

#### 組曲「惑星」～「木星（快樂をもたらす者）」

ネヴィル・マリナー指揮東京フィルハーモニー交響楽団  
(1976.5.22 東京文化会館大ホールでのLive)

### エドワード・エルガー (1857～1934):

#### エニグマ変奏曲（変奏曲「謎」）～ニムロッド、B.G.N.、ロマンツァ、終曲

ネヴィル・マリナー指揮マーラー・ユージェント管弦楽団  
(1993.4.26 ウィーン・ムジークフェラインザールでのLive)

### レイフ・ヴォーン＝ウィリアムズ (1872～1958):

#### トマス・タリスの主題による幻想曲

ネヴィル・マリナー指揮アカデミー室内管弦楽団  
(2016.4.9 東京オペラシティ・コンサートホールでのLive)

### ウィリアム・ウォルトン (1902～1983):

#### 交響曲第1番変ロ短調～第4楽章

ネヴィル・マリナー指揮シュトゥットガルト放送交響楽団  
(1991.11.13 シュトゥットガルト、ベートーヴェンザールでのLive)



\*\*\* 休憩 \*\*\*

### アントニオ・ヴィヴァルディ (1678～1741):

#### 協奏曲集「和声と創意への試み」op.8の1-4「四季」～「冬」

ネヴィル・マリナー指揮アカデミー室内管弦楽団/アイオナ・ブラウン(V)  
(1972.4.13 東京文化会館大ホールでのLive)

### フェリックス・メンデルスゾーン (1809～1847):

#### 交響曲第4番イ長調op.90「イタリア」～第1楽章、第4楽章

ネヴィル・マリナー指揮フィルハーモニア管弦楽団  
(1985.3.18 昭和女子大学人見記念講堂でのLive)

### ヨハネス・ブラームス (1833～1897):

#### 交響曲第1番ハ短調op.68～第1楽章から、第4楽章

ネヴィル・マリナー指揮NHK交響楽団  
(2014.11.18 NHKホールでのLive)